

令和7年1月17日
九州地方整備局

九州・沖縄ブロック「広域的・戦略的インフラマネジメントセミナー」を開催します

九州地方整備局では、「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」の推進に向けて、その重要な取組手法の一つである「包括的民間委託」の先導的な優良事業の取組について、課題の解決方法など質疑応答を中心に、さらに理解を深めることで、地方自治体における包括的民間委託の導入の参考とするため、九州・沖縄ブロック「第2回広域的・戦略的インフラマネジメントセミナー」を下記のとおり開催いたします。

■開催概要

日 時：令和7年2月12日（水） 14：00～（2時間程度）
場 所：九州地方整備局 6階 DX 推進室（開催方法：WEB 方式）
対 象：地方自治体 老朽化対策担当者

次 第

第1部 広域的・戦略的インフラマネジメントの推進

- 1）総力戦で取り組むインフラマネジメント
- 2）九州地方における包括的民間委託の導入状況
- 3）道路のインフラメンテナンスに関わる動向

第2部 先進事例紹介・質疑応答

- 4）インフラの包括的民間委託の取組
- 5）地域一括発注におけるインフラマネジメントの取組

■報道関係者の聴講について

- ・活発な意見交換を行う観点から第2部は非公開とさせていただきます。
- ・聴講をご希望される方は 2月7日（金）17時までに 別紙登録様式に必要事項を記入し、メール（PDF 形式で別紙を添付）にてご登録ください。
- ・当日は、開始15分前までに開催場所へ直接お越しください。
- ・腕章またはネームプレート（報道関係者とわかるもの）の着用をお願いします。

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 企画部 企画課 寺尾・水田
電話：092-476-3542（直通）

九州・沖縄ブロック「広域的・戦略的インフラマネジメントセミナー」

聴講登録書

令和7年2月12日(水)の会議について、聴講を希望される報道機関におかれましては、事前に登録をお願いします。登録希望者が多数の場合は、入場制限等をお願いする場合がございます。

送信期限:2月7日(金)17時まで

1. 報道機関名(会社名及び部署名)

2. 氏名等

ご氏名 (複数で聴講される場合は代表者のみで結構です)	連絡先 (当日連絡可能な携帯番号等)	人数 (代表者を含む)

3. 送付先(国土交通省 九州地方整備局 企画課代表メールあて)

qsr-kikaku@ki.mlit.go.jp

九州・沖縄ブロック「第2回広域的・戦略的インフラマネジメントセミナー」

○日 時：令和7年2月12日（水）14:00～（2時間程度）

○方 法：W e b方式

○概 要

本セミナーでは、「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」の推進に向けて、先導的な優良事業の取組について、課題の解決方法など質疑応答を中心に、理解を深めることで、地方自治体における包括的民間委託の導入の参考とするものです。

○内 容

開 会

第1部 広域的・戦略的インフラマネジメントの推進

1) 総力戦で取り組むインフラマネジメント

（国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 企画調整官 岩井 聖）

2) 九州地方における包括的民間委託の導入状況

（九州地方整備局 企画部企画課 事業調整官 寺尾 幸太郎）

3) 道路のインフラメンテナンスに関わる動向

（九州地方整備局 道路部地域道路課 課長 福原 茂）

第2部 先進事例紹介

4) インフラの包括的民間委託の取組

（新潟県 三条市 建設部建設課 課長補佐 大坂 市郎）

（質疑・応答）

5) 地域一括発注におけるインフラマネジメントの取組

（公益財団法人 宮崎県建設技術推進機構土木課

支援担当 副主幹 成田 政男）

（質疑・応答）

閉 会

九州・沖縄ブロック「第2回広域的・戦略的インフラマネジメントセミナー」

<説明概要>

第1部 広域的・戦略的インフラマネジメントの推進

1) 総力戦で取り組むインフラマネジメント

(国土交通省総合政策局 公共事業企画調整課 企画調整官 岩井 聖)

- ・国土交通省では、「地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）」の取組について、11件（40地方公共団体）のモデル地域を選定し検討を進めている。類似の先行事例を含め、群マネの最新情報について紹介する。

2) 九州地方における包括的民間委託の導入状況

(九州地方整備局 企画部企画課 事業調整官 寺尾 幸太郎)

- ・九州地方における人口減少に伴う人手不足や激甚化・頻発化する自然災害の課題共有とインフラメンテナンスの包括的民間委託の導入状況について紹介する。

3) 道路のインフラメンテナンスの動向

(九州地方整備局 道路部地域道路課 課長 福原 茂)

- ・道路のインフラメンテナンスに関わる各種支援メニューの紹介など、今後の動向も含めて紹介する。

第2部 先進事例紹介

4) インフラの包括的民間委託の取組

(新潟県 三条市 建設部建設課 課長補佐 大坂 市郎)

- ・地元建設業の減少による担い手不足が進む一方、施設の老朽化の進行や自然災害の発生頻度増加などに直面し、このままでは施設の完全・安心を維持できなくなる恐れがあるため、インフラを持続的に維持管理していく仕組みとして、平成29年度より道路・公園・水路の維持管理業務、窓口業務、巡回業務を民間に委託する包括的維持管理業務委託を実施している。

※今年、第1回 PPP/PFI の先導的な優良事業として内閣府の特別賞を受賞。

5) 地域一括発注におけるインフラマネジメントの取組

(公益財団法人 宮崎県建設技術推進機構土木課 支援担当 副主幹 成田 政男)

- ・平成26年度よりアセットマネジメント等支援事業として、橋りょうの維持管理におけるPDCAサイクルを全面的に支援している。現在、県内の24市町村から橋りょうの定期点検、診断、データの一元管理、修繕計画の策定（更新）を一貫して行うことで、①業務の効率化、②品質の向上、③コスト縮減、④市町村職員の負担軽減を図っており、参加している自治体からの評価は高い。